

製品名: LMNA マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81020**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	74kDa

抗原情報

遺伝子名	LMNA
別名	FPL; IDC; LFP; CDDC; EMD2; FPLD; HGPS; LDP1; LMN1; LMNC; PRO1; CDCD1; CMD1A; FPLD2; LMNL1; CMT2B1
遺伝子 ID	4000.0
SwissProt ID	P02545
免疫原	大腸菌で発現したヒト LMNA の精製された組み換え断片。

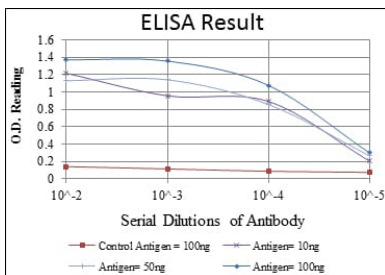
背景

核ラミナは、内核膜に隣接する二次元タンパク質マトリックスで構成されています。ラミンファミリータンパク質は、このマトリッ

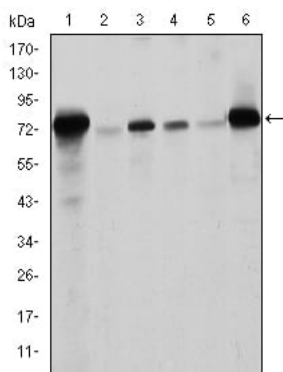
クスを構成し、進化の過程で高度に保存されています。有糸分裂中、ラミンタンパク質がリン酸化されるにつれて、ラミナマトリックスは可逆的に分解されます。ラミンタンパク質は、核の安定性、クロマチン構造、および遺伝子発現に関与していると考えられています。脊椎動物のラミンは、A型とB型の2種類に分類されます。この遺伝子は、選択的スプライシングによって、3種類のA型ラミンアイソフォームをコードします。この遺伝子の変異は、エメリー・ドレイファス型筋ジストロフィー、家族性部分的リポジストロフィー、肢帯型筋ジストロフィー、拡張型心筋症、シャルコー・マリー・トゥース病、ハッチンソン・ギルフォード早老症候群など、いくつかの疾患を引き起こします。

研究分野

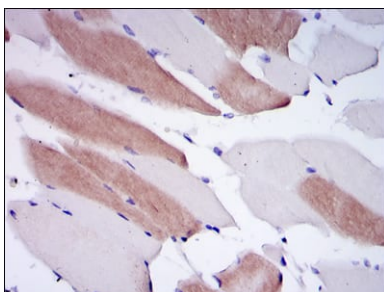
画像データ



赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



Raw264.7 (1)、PC-12 (2)、THP-1 (3)、A431 (4)、MCF-7 (5)、Jurkat (6)細胞溶解物に対するLMNA マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



DAB 染色を伴う LMNA マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト横紋筋組織の免疫組織化学分析。